

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第76期第2四半期連結累計期間(2019年11月21日から2020年5月20日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

●当第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間においては、期間前半は雇用環境や企業収益などは緩やかな回復傾向にありましたが、後半は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により景気が急速に悪化するなど厳しい状況で推移いたしました。このような経営環境の中で、当社グループは、ステンレスマホービンの既存商品の新製品を発売しラインアップ強化を行うとともに販売にも注力いたしました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もありステンレスマホービンが低調に推移し、中国や東南アジアでも前年実績を下回りました。加えて、国内では市場の停滞により炊飯ジャーの売上減少、海外売上高の為替の影響による円換算額減少も影響し、39,819百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

利益につきましては、原価の低減や販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、海外売上高の減少やステンレスマホービンが低調に推移したことによる利益の減少により、営業利益は3,122百万円(前年同期比23.6%減)となりました。経常利益につきましては、3,108百万円(前年同期比27.5%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,032百万円(前年同期比30.4%減)となりました。

●今後の取り組みについて

中期3ヵ年計画『ADAPT』の2年目にあたる当期は、『ADAPT』の実行の年と位置付け、前期に立案・計画化した内容を着実に実行し、成果に結びつけるべく取り組んでおります。具体的には、ステンレスポトルにおいて新しいコンセプトの新製品を発売、圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』のモデルチェンジにより機能強化を図るなど、多様化するニーズに応えた商品ラインアップの強化を行いました。また、ステンレスポトルを通じてプラスチックごみ削減などの環境問題の解決とマイポトルの利用促進を図るためのCSR活動を引き続き推進いたしました。

業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が不透明ではありますが、主力の炊飯ジャーの新製品投入、ホットプレートなどの巣ごもり関連商品、空気清浄機などの衛生関連商品の販売拡大を図ります。しかしながら、第3四半期以降もステンレスポトルの売上が当初予想を下回る見込みであることから、第2四半期連結累計期間の業績の状況を踏まえ、通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

厳しい経営環境ではございますが、株主の皆様におかれましては、今後ともますますあたたかいご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■2020年11月期業績予想(為替レート1ドル=110円)

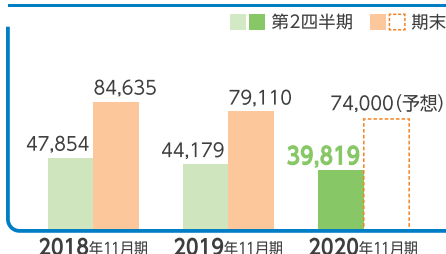
	前回予想	今回予想
売上高	805億円	740億円(前回予想比 8.1%減)
営業利益	55億円	47億円(前回予想比 14.5%減)
経常利益	59億円	47億円(前回予想比 20.3%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	40億円	31億円(前回予想比 22.5%減)

代表取締役
社長執行役員
市川 典男

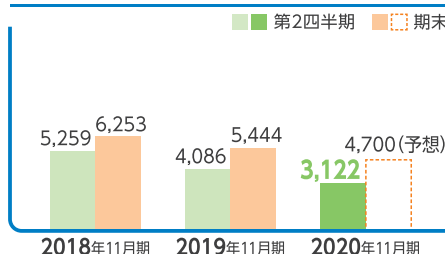


連結財務ハイライト

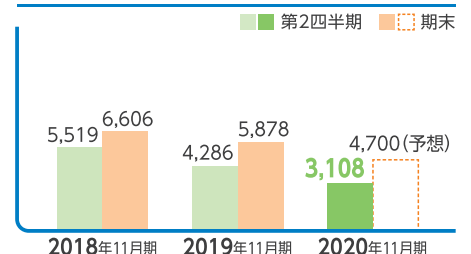
売上高 (単位:百万円)



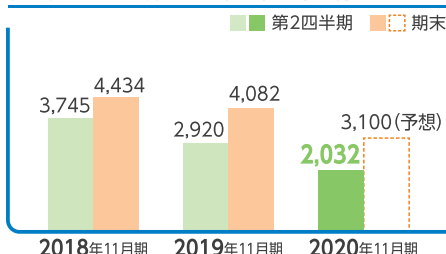
営業利益 (単位:百万円)



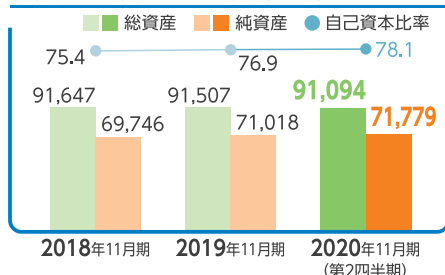
経常利益 (単位:百万円)



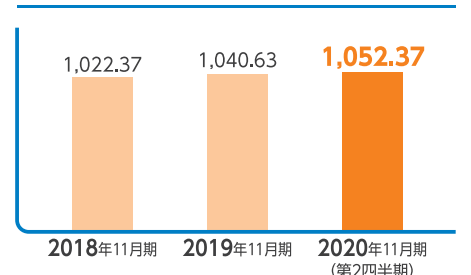
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産・純資産/自己資本比率 (単位:百万円・%)



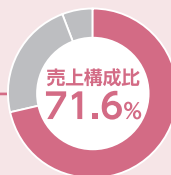
BPS[1株当たり純資産] (単位:円)



製品区分別業績の概況

調理家電製品

売上高 **284億95百万円** 前期比 **2.9%減** ▼



主な製品



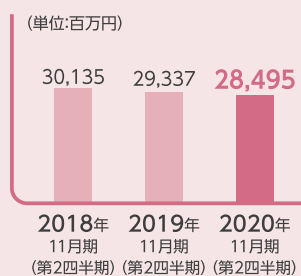
小容量圧力IH炊飯ジャー
(NW-ES型)



VE電気まほうびん
(CV-WB型)

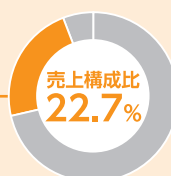
巣ごもり需要拡大による売上増があったものの、国内外で売上が減少

- [国内]** ● 少人数世帯の増加傾向もあり3合炊きサイズの圧力IH炊飯ジャーが好調に推移したものの、その他の炊飯ジャーは市場の停滞などの影響もあり全般的に売上が減少いたしました。
- 電気ポットは市場の縮小傾向もあり前年実績を下回りました。
- 電気調理器具では、コーヒーメーカーの売上が減少したものの、オーブントースターや巣ごもり需要の拡大によりホームベーカリーの売上が伸びました。
- [海外]** ● 炊飯ジャーは台湾市場では前年実績を上回ったものの、中国市場では新型コロナウイルス感染症の影響で販売店が一時閉鎖したこともあり低調に推移いたしました。
- 電気ポットは中国市場などで売上が減少いたしました。



リビング製品

売上高 **90億26百万円** 前期比 **27.7%減** ▼



主な製品



ステンレスマグ
(SM-SE型)



ステンレスクールボトル
(SD-FB型)

ステンレスマホービンが国内外で売上が減少

- [国内]** ● 市場全体の出荷数量減少に加え、新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛や休校の影響によりステンレスボトルの需要が停滞したこともあり、ステンレスマグや飲み方を2通りから選べる2WAYボトルが低調に推移いたしました。
- 保冷専用のステンレスクールボトルも前年実績を下回りました。
- [海外]** ● 中国市場ではステンレスフードジャーが好調に推移したものの、ステンレスハンドポットやステンレスマグの売上が減少いたしました。
- 東南アジアや北米でもステンレスマグを中心に前年実績を下回りました。



生活家電・その他製品

売上高 **22億97百万円** 前期比 **2.3%減** ▼



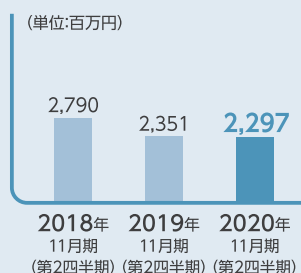
主な製品



加湿器
(EE-DA型)

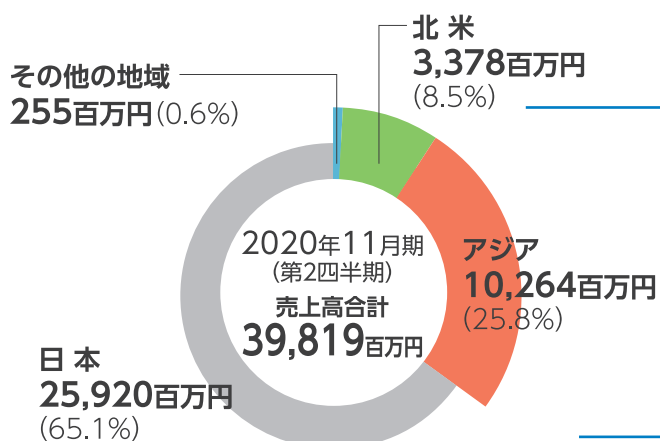
国内で加湿器・空気清浄機の売上が増加したものの、その他製品が低調に推移

- [国内]** ● ふとん乾燥機の売上が減少したものの、加湿器は市場の出荷数量増加もあり好調に推移し、空気清浄機も前年実績を上回りました。
- その他製品は、売上が減少いたしました。

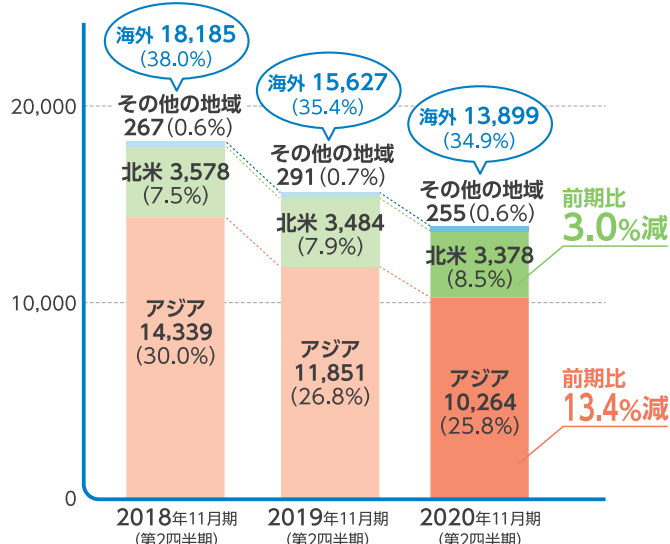


地域別業績の概況

■2020年11月期(第2四半期)
地域別売上高構成比



■海外売上高 / 海外売上高比率の推移 (単位:百万円)



トピックス



圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』をモデルチェンジ



当社では、発売以来好評をいただいている圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』をモデルチェンジし、従来以上の激しい対流を実現することで、さらにふっくらとした大粒のご飯を炊き上げる『炎舞炊き』新製品(NW-LA型)を発売いたしました。

新製品では、象印独自の炊飯技術である複数のIHヒーターを独立制御する「ローテーションIH構造」をさらに進化させ、従来3つだった炊飯ジャー本体底のIHヒーターを6つに増強、対角線上のIHヒーターを同時加熱することで、より激しい対流を起こし、大火力での炊飯が可能になりました。この激しい対流を伴う大火力炊飯により、お米の甘み成分をさらに引き出し、ふっくらとしたご飯を炊き上げます。また、内ぶたの構造を見直し、毎回の炊飯後に洗う部品を内釜と内ぶたの2点のみとしました。

毎日使うものだから、ごはんのおいしさとお手入れのしやすさにこだわりました。



プラスチックごみ削減への取り組み



●「おおさかマイボトルパートナーズ」に参画

当社は2019年6月、プラスチックごみ削減や省エネなどの社会課題とマイボトルの利用促進などを目的に、大阪府との間で「大阪府と象印マホービン株式会社との連携に関する協定書」を締結しました。そして、この度、2020年3月31日に大阪府にて発足した「おおさかマイボトルパートナーズ」に参画しました。2025年に開催される大阪・関西万博に向けて、他の加盟団体などと連携しながら、マイボトル利用啓発に関する取り組みを推進していきます。

●社内における「ペットボトルゼロ」の強化

当社は、2019年末に社内において会議・自席でのペットボトルの使用禁止を行う「ペットボトルゼロ」を完了しました。そして、2020年からはペットボトルに加えプラスチック製使い捨て飲料容器の使用禁止を行い、グループ会社にも順次展開することで、象印グループ全体でプラスチックごみ削減にさらに取り組んでいきます。

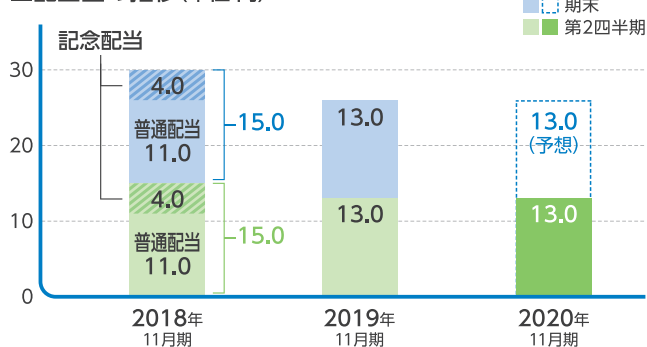
配当について

当社グループは、株主に対する利益還元を重要政策の1つであると考えており、企業基盤の強化ならびに将来の事業展開のための内部留保や収益見通しなどを総合的に勘案し、安定的な成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、当期の中間配当は1株当たり13.0円を実施いたしました。

また期末配当については、1株当たり13.0円を予定し、年間配当額は1株当たり26.0円を予定しております。

■配当金の推移(単位:円)



株主優待制度のご案内

◆株主優待内容

当社商品の優待価格および優待特別割引による販売
※優待特別割引については、右の表をご確認ください。

◆株主優待対象基準

11月20日現在の当社株主名簿に記載または記録された単元株(100株)以上の株式を保有されている株主様

◆株主優待のご利用方法

年1回、毎年2月に対象株主様へ優待販売のご案内および申込はがきを送付いたします。優待販売のご案内をご覧いただき、ご希望の商品をお申込ください。

■優待特別割引

ご所有株式数	優待特別割引額
100株以上 500株未満	ご購入金額合計より 1,000円割引
500株以上 1,000株未満	ご購入金額合計より 2,000円割引
1,000株以上	ご購入金額合計より 4,000円割引

株主メモ

事業年度	毎年11月21日から翌年11月20日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	■定時株主総会 11月20日 ■剰余金の配当 期末 11月20日 中間 5月20日
1単元の株式数	100株
公告方法	当社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.zojirushi.co.jp/corp/ir/koukoku.html
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社等までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部までお問い合わせください。
TEL 0120-094-777(通話料無料)

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 TEL06-6356-2311

〈ホームページのご案内〉 <https://www.zojirushi.co.jp>
企業情報や製品情報など象印マホービンの最新情報をご覧ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

証券コード:7965